

あやがわ



議会だより



合併してはじめての小学校運動会



2006

No. 2

平成18年10月21日

定例会のあらまし・監査報告	2~4
一般質問に9人が登壇	5~9
委員会報告	10~11
視察研修・工場見学の報告	12

平成22年の選挙から 議員定数を2名減らして16名に

条例改正

平成18年第4回定例会は、9月21日から9月26日を会期として開会しました。町長から提案理由の説明、監査報告、9人の議員による一般質問に続き、平成18年度一般・特別会計補正予算など26件、また、議員発議による「綾川町議会の議員の定数を定める条例」「飲酒運転撲滅に関する決議」が提出され、いずれも原案どおり可決しました。なお、平成17年度決算認定については、決算審査特別委員会に付託し、12月議会までの継続審査としました。今議会は3人の傍聴者がありました。



議員定数について（提案理由）

さる6月30日全員協議会において審議され、総務委員会協議会で審査をすることになりました。そこで、総務委員会協議会では、県内外における議員定数の状況を参考にし、また、本町職員において、給与体系を一部見直しするなど、財政的な見地から議会議員においても、議員数を2名減とする「綾川町議会議員の定数を定める条例」を最終日において、提出者 香川秀行議員と、他4名の賛成議員の署名をし、議員発議として、提出することになりました。

（平成18年4月現在）

町名	面積(km ²)	人口	現在の議員定数	次の選挙からの議員定数
まんのう町	194.17	19,908	21	18
三木町	75.78	28,794	20	18
多度津町	24.34	23,613	18	16
土庄町	74.38	16,409	18	14
直島町	14.22	3,537	12	10

監視機能の低下を招く

反対討論 安藤利光議員

合併して、間もない中で十分な議論ができていない。あと3年半の期間もあり、監視機能の低下をしないよう、十分な審議が必要である。もし減員するのならば町長の補佐役がはたして必要か、経費面で議員2名分に匹敵する。

決議案を可決

飲酒運転撲滅に関する決議

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、町民すべての切実な願いである。

しかしながら、本年の県内における交通死亡事故は、昨年までの減少傾向から、一転して増加に転じ、人口10万人当りの交通事故死者数は、再び全国ワースト第1位になるなど、極めて厳しい状態が続いている。

（中文省略）

よって、本町議会は、町民をはじめ、関係機関・団体とも連携のうえ、交通安全意識の高揚と飲酒運転等の悪質危険運転者対策に取り組み、飲酒運転撲滅と交通事故のない社会の実現に向けて不断の努力を払うことをここに宣言する。以上、決議する。

平成18年9月26日

綾川町議会

議員自ら経費節減を

賛成討論 大谷照美議員

国の三位一体を考え、交付税の削減等、町の財政も非常に苦しいので、今はやむにやまれない事態になってきており、現在の綾川町が、いつまでも続くことを願い、また、住民サービスの低下を招かないよう、そして、議員自ら経費節減に努める事とし、2名削減に賛成する。

合併して日が浅く

今議論すべきか

反対討論 石井和義議員

2名減について大切なのは、今、議論するのは問題があり、まだまだ合併して日も浅いため、住民への理解がもたらにくく対話が必要であり、各種委員との関係を踏まえたいうえで、議論すべきと思う。

災害復旧費に1億5000万円

一般会計

歳入歳出それぞれ1億9234万7000円を増額補正し、補正前の予算と合わせると、84億7234万7000円となりました。

歳入面は、県支出金で

農林水産施設災害復旧費補助金として1億4306万8000円を計上し、補正予算総額の74%を占めています。

一方、歳出面でも災害復旧費で広域基幹林道塩江琴南線の工事請負費などで1億4963万8000円を計上しています。

特別会計(主なもの)

◎火葬事業特別会計

綾川斎苑管理運営費で、火葬場土地、火葬炉等事前調査業務委託料、火葬場修繕工事請負費など、678万円を計上しています。

消防ポンプ車を購入

綾南第4分団ポンプ車は18年間、綾上分団小型ポンプ付積載車は28年間と、双方ともに老朽化しており、また消防車両の年次計画より、本年度は更新時期となっているため、購入するものです。

◎消防ポンプ自動車

2WD C D 11
契約金額
1,772万4千円

契約相手
株岩本商会 高松支店

◎小型動力ポンプ付積載車4WD(3台)

契約金額
1,102万5千円

契約相手
株福島商会



購入予定同型のポンプ車

決算審査特別委員会
のメンバーは次の8名です。

- 委員長 河野 雅廣
- 副委員長 田辺 健次
- 委員 中西 一幸
- 委員 造田 節夫
- 委員 碓石 眞己
- 委員 香川 秀行
- 委員 安藤 利光
- 委員 大谷 照美

臨時会を開催

平成18年第3回臨時会を7月18日開会。議案2件を原案どおり可決しました。

◎工事請負契約

◎昭和小学校

大規模改造工事
契約金額
1億7850万円

契約相手
株フジタ四国支店

◎菅原14工区下水管

布設工事
契約金額
1億3282万5千円

契約相手
戸田建設株四国支店

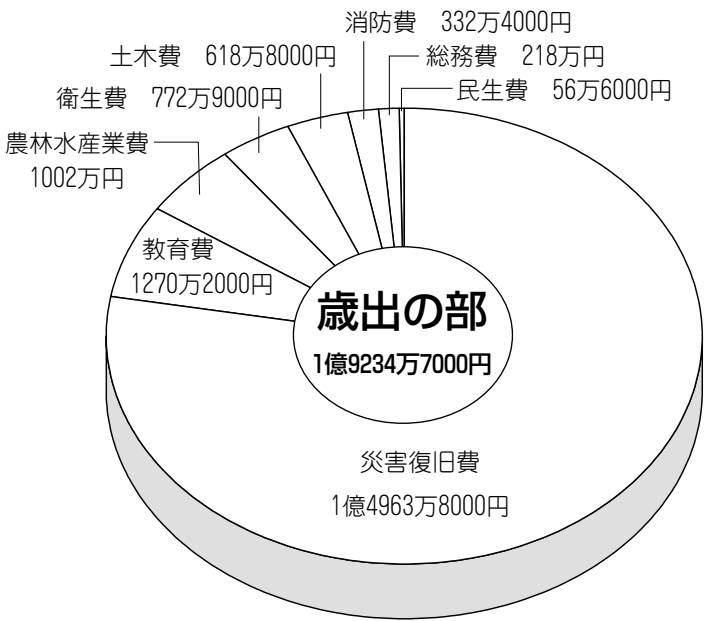
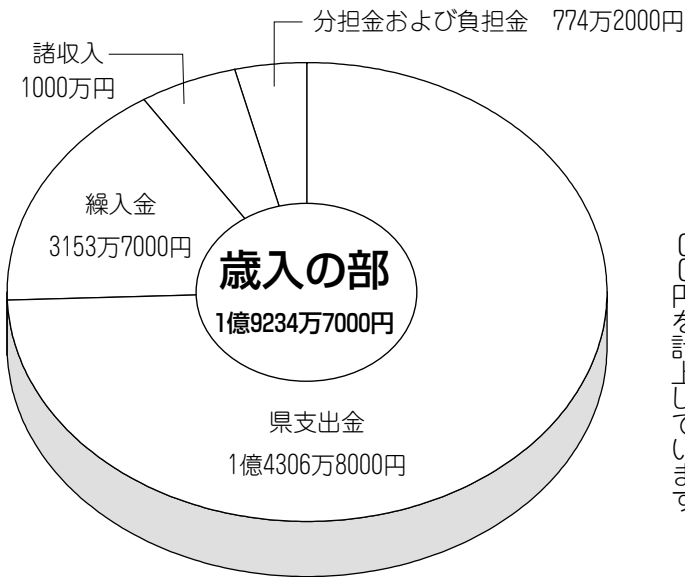
人権擁護委員の推薦同意

本年12月31日で任期満了となる人権擁護委員に高坂千恵子氏を推薦することに同意しました。



高坂 千恵子 氏 (56才)
綾川町西分287番地4

補正予算



監査報告



財政の健全適正化を 監査委員の意見を

長尾 武夫

17年度は、平成18年3月21日の合併に伴い、「綾川町一般会計および特別会計」、「綾南町一般会計及び特別会計」、「綾上旧各小学校の備品等

について、早期に整理し、台帳整備するとともに、管理替え等の措置が望まれます。

旧羽床上小学校の、跡地利用は、効率的な運用が早期に出来るよう推進をお願いします。

町道・向原田所富川線は、全線ほぼ完成しているが、一部区間において、未改良が見受けられるので、

速やかに完了されることを望みます。

綾上浄水場は、今回、処

町営住宅は、すでに、自治会が構成されているので、なお一層の環境美化の推進に努められますよう要望します。

合併後の平成17年度末の借入金未償還残高は一般会計で63億2372万円1245円。経常収支比率が84.6%となり、普通70%程度が標準的とされています。しかし、公債費比率は、6.1%で

あり、今後、財政基盤を強化することが肝要です。平成17年度末の基金及び積立金は、34億4,818万1千円となっております。今後、基金の積み立てを行い、単年度の財政が圧迫されることのないようお願いいたします。

17年度一般会計の歳入・歳出状況は、歳入総額は、129億6,268万円。歳出総額は117億7,199万2千円です。

合併前の決算でみると、収益的収支において、総収益で前年対比6.48%の増で、1億1,409万2千円余りの純利益の決算。主な内訳は、外来収益で、睡眠時無呼吸症候群の診断・治療、人工透析、デイケア等の利用者の増加、また、病時保育室「うぐいす」における少子化対策への取り組み等により、前年対比で7.3%の増収となっております。また、入院患者

も病床稼働率95.3%と、ほぼ満床の状況であり、入院収益は、前年対比で4.31%の増となっております。今後、一層の機能の充実が期待されます。

水道事業

合併前の決算でみると、綾南町では、収益で、給水収益が前年より244万円増え、受託工事収益と営業外収益も大幅増になったことから、前年対比13.3%増の4億6,336万円となっております。費用では、受託工事費の増加と合併に伴う料金システムの更新や事務所改装工事等で、4億2,533万円で、当期純利益は、前年より2,802万円減って3,855万円です。有収率については、初めて90%を超えました。

綾川町においては、平成18年3月31日現在の状況をみると、事業認可区域のうち、整備済み区域は、353.2ヘクタールで整備率は、72.7%となっております。加入状況は7,525人のうち5,476人で、加入率は72.8%となっております。引き続き、未加入者、未加入企業等の加入促進をお願いします。

綾川町となった、平成18年3月31日現在の状況をみると、事業認可区域のうち、整備済み区域は、353.2ヘクタールで整備率は、72.7%となっております。加入状況は7,525人のうち5,476人で、加入率は72.8%となっております。引き続き、未加入者、未加入企業等の加入促進をお願いします。



町道・向原田所富川線



綾上浄水場

いっばん質問



陶病院の自販機

大谷 照美 議員

Q 陶病院に売店を

A 老人保健施設と併せて協議

問 陶病院利用者および入院患者から要望が多い、

売店を設置して頂きたい。また、公衆電話も少なく、郵便切手やはがきなども販売していない。郵便ポストの設置をして頂きたい。また入院患者が日用品などを買うことができず、不便な思いをしているようである。売店を町営で経営することが難しいのであれば、病院の一部を開放して、町民に用地を提供して経営させてはどうか。

町長 売店については、設計の段階でも入院・外来患者数等からの利用度・採算面等から検討した結果、売店は断念し、自動販売機の設置をした。病院の一部を開放して一般住民に用地提供するという提案については病院・総合施設全体で検討したい。売店設置は老人保健施設と併せて、議会と協議したい。

また、郵便ポストは病院が管理するポストを設置、切手も事務室で対応したい。

Q 広報等の戸別郵送の改善を

A 新規に自治会結成が図れるよう努力

問 広報・議会たよりは、未加入の家庭には郵送されている。財政厳しい現在、必要な方は地区公民館に、取りに来て頂くように改善すべきではないか。

町長 自治会未加入者は合併を機に郵送している。香川県広報でも全戸配布を行っており、この方法により実施せざるを得ないと思う。新規に自治会の結成が図れるよう努力する。

田辺 健次 議員

Q **A**

安心、安全な街づくりは積極的に取り組んでいる

問 全国の防犯に対する取り組みとして、地域安全安心事業の実施、街頭緊急通報システム、スーパード防犯灯の整備、地域ぐるみの学校安全体制整備、指導を行っている。

町長 綾川町少年育成センターでは、補導員の皆さんと共に町内のスーパー、コンビニなどの万引き防止、たまり場になりやすい場所の夜間補導、休

日の昼間補導を重点的に、少しでも不審と思われる場合に積極的に声をかけをし、非行の発生を未然防止している。町内巡回パトロールを実施し、あわせて学校・警察・近隣の少年育成センターとの情報交換をはかるなど、積極的取り組みをはかっている。町道の道路照明の設置要望については現地確認のうえ、検討する。

町では今後どのような取り組みをされるのか。住民より①陶地区田所東森末付近②滝宮小学校周辺③綾上地区もみじ温泉東方向付近道路に照明灯を設置してほしいとの要望がある。近隣の農地への光害の影響、難問があることは当然であるが、安全防犯のため関係地権者のご理解をいただき、犯罪のない綾川町にしたいと思うが町長の考えは。



陶地区田所東森末付近

村瀬 秀則 議員

Q

羽床墓園移転改修は

A

墓地移転推進委員会（仮称）を設置し、進める

問 羽床墓園の移転計画が出され、10年前より進んでいないが、県の河川改修とあわせ、工事再開と墓園移転改修はどのようになっているのか。

町長 墓石の現状および関係地権者を調査し、実態調査につとめ、県とも十分調整をはかりながら墓地移転推進委員会（仮称）を設置し進める。

向性は。町長 今後の動向をみながら、医療型療養病床を現状のまま県に要望し、長寿高齢化社会に対応でき、きる県下のモデルとなるよう一層の努力をする。

Q 陶病院の今後のビジョンは

A 県下のモデルとなるよう努力する

問 来春4月より施行される、社会医療法人制度にもなう自治体病院のあり方、第5次医療法改正による今後の運営、方



羽床墓園

山亀 英信 議員

Q

町営バス・学童バスは

A

町営バスの統合は来年度当初から

問 町営バスは住民の自家用がわりの車だと思つて、運転手はいつも規則を守り、乗車する方に親しまれる人になっていただきたい。老人・若い学生たち免許を持っていない人たちの車である。病院・通学・買い物など一人でも多く乗車できる運行時間を考えているのか。1、バスにタコグラフをつけていただきたい。2、町営バスの統合。

3、病院・学校・買い物店などに停車場。
4、バス停以外でも停車。
5、バス停でも学童を乗降してほしい。

町長 旧綾上町はコトデンバスに、学童バスは日本総合サービス、旧綾南町はあさひ交通に運行を委託している。現在では、タコグラフをつける考えはない。町営バスの統合は、旧綾上町は道路運送法第80条による自家用での運行。旧綾南町は同法21条による貸切旅客自動車による運行、統合の時期としては、来年度当初がよいと考えている。バス停・学童の乗降については今のままでご理解をいただきたい。



学童バス

松浦 正昭 議員

A Q

農地・水・環境保全向上対策は

活動組織と十分な協議のもと進める

問 「農地・水・環境保

全向上対策」について、現在はこれらの保全を農業従事者が主に管理しているが、高齢化と混住化により、維持管理が困難になってきているのが現状である。

そこで「地域住民により、資源の保全向上活動に対し交付金制度」が創設される

①共同活動に対する支援金はいくらか②綾川町の取り組みの現状はどうなっているのか。

町長 支援交付金の額は、田の場合10アール当たり44000円、



水路の保全管理も大切

畑の場合は28000円である。(対象農地は農振農用地) 地目ごとの対象農用地の面積に乗じて得た金額の合計額となる。財源の内訳は国が2分の1で県と町がそれぞれ4分の1ずつ負担する。また、綾川町の取り組みの現状は、自治会文書の

中へパンフレットと文書を入れたが、申し込みが少なかったため、各地区で説明会を開催した結果、13活動組織で希望があった。各活動組織の区域の設定について現在調査しており、十分な協議のもと進めたい。

笹川 定義 議員

Q

中山間地域総合農地防災事業の進捗は

A

認定が受けられるよう事務作業を進めている



老朽化したため池

問 町内の中山間地域には、老朽化が進み、機能低下している「ため池」、排水路、管理道路も含め防災上から整備が急がれる地域が多くあり、地元負担5%で行える中山間地域総合農地防災事業制度が期待されている。事業申請された件数と、申請地区への対応について、また合併して綾川町となっ

た今後、中山間地域総合農地防災事業にどのような取り組みでいくのか。町長 要望地区の取りまとめを平成16年1月から3月にかけて行った。申請は9地区あり、香川県中讃土地改良事務所と協議した結果、いずれも受益面積、事業内容、事業費の点で要件を満たしている地区はなかった。し

かし、老朽「ため池」などの改修の要望箇所は防災上の観点からも非常に重要な箇所なので、香川県中讃土地改良事務所の指導を受けている。現在、合併にともなう認定が受けられるよう、見直し作業を進めている。農地防災事業の許認可の限度にとらわれず対応する。

安藤 利光 議員

Q 集配業務の廃止でサービス低下が

A サービスを維持するよう強く要望

問 多くの郵便局は、9月に集配業務を廃止し、窓口だけになった。対象は綾上も含め、過疎地が主である。町民から、「集配がなくなれば人が減り、田舎はさびれ、住みにくくなる。速達も速達でなくなり、サービスは低下。役場も農協もなくなり、局も」



職員が減少した綾上郵便局

と、心配しているが。

町長 9月より窓口業務だけになっているが、お年寄世帯への声かけも引き続きなされている。今後、滝宮局の職員配置などについて、現在のサービスが守れるよう要望したい。

Q 産廃処分場計画は

A 慎重に対応する。

問 山田下に建設廃材などの産廃処分場計画があるが、現在どうなっているか。地元自治会、下流

の水利組合の同意はとっていると思うが、周辺地や下流域の陶地区に、水質、環境破壊が心配される。どのような手立てを。町長 旧町のときに計画があり、町、地元自治会、水利組合と協議し、同意を得たうえで鹿庭産商は、県に書類を提出し、協議中。町は、鹿庭産商と環境に関する協定書を5月に結んでいる。林地開発の意見書は慎重に対応する。

石井 和義 議員

Q どうする臭気公害

A 快適な生活が送れるよう努める

問 循環型社会システムが構築されつつあるなか、町内において動植物や食品等の残渣を主原料に肥料等を製造する事業所がある。しかし、これらの事業所から発生する悪臭が、周辺住民の生活に相対的な被害を及ぼしている状況がある。住民からの相談・苦情の状況、また、行政としての実態の把握、調査及び監視体制を尋ねる。

答 町内に、

肥料や土壌改良剤を製造販売している事業者が数社あり、耐え難い臭気を発生していることは承知している。これらの会社に対し、中讃保健所と連携し改善命令と共に、脱臭菌の使用や施設改善等を指導してきた。住民がより良い生活環境のもと、快適な生活が送れるよう、関係機関、地元とも連携を取りながら対策に努める。



改善がみられる事業所

す影響は大きい。今回の改善計画に当たり、建設候補地は町域全体で選定すべきでないか。

答 現在の施設は、旧二町の間間に位置していて、もっとも適した場所と思われる。これまで長期間受け入れたいただいた地域の皆様には、本当に感謝しているが、再度受け入れをお願いしたい。なお、他の地域を含め、早急に検討する。

問 綾川斎苑（火葬場）は、築後38年が経過し、老朽化が著しく、煙害・悪臭など周辺住民に及ぼ

問 綾川斎苑（火葬場）は、築後38年が経過し、老朽化が著しく、煙害・悪臭など周辺住民に及ぼ

A **Q**

**民間企業と検討する
社会福祉協議会による運送事業は**

問 今回、綾川町社会福祉協議会により、一般乗用旅客運送事業を行うと聞いたが、どのような計画のもとでの事業展開なのか。また9月1日より

綾川町の旧綾南町地域が特別監視地域の指定を受けた。現在の民間企業への圧迫と乗用旅客自動車の増加をどのように考えているのか。また、特別



介護タクシー

監視地域の指定を受けての申請に対してはどのような考えか。

町長 社会福祉協議会が許可を取ろうとしている一般乗用旅客自動車運送事業、介護タクシーは、交通機関の利用が困難な方を対象に通院介護サービスを提供するものである。国交省や県の指導を得ながら、営業許可申請を提出した。内容は特殊車一台で、会員制による医療機関への移送や介護であり、訪問介護サービス上では必要不可欠である。特別監視地域の指定は、介護タクシーは今後の検討課題であると聞いており、社会福祉協議会も民間企業と検討する。

ほかにもこんな質問がありました

新町まちづくりは

Q 100人委員会の立ち上げ時期、内容は。

A 10月4日初会合を開催、専門部会で議論を深め12月中旬計画策定の予定。

生涯学習センターの取り組みは

Q 18年度から役場東の用地を整備し、図書館・駐車場などに活用する方向と聞けが取り組みは。

A 今年度は駐車場で整備し、今後は利用度の高い生涯学習施設の建設に向けていきたい。

有害鳥獣による被害対策

Q イノシシによる農作物被害が深刻となるなか、サルによる被害報告も聞く。対策はどうしているのか。

A 電気柵による助成制度を創設し、30地区、21ヘクタールで実施し、効果をあげている。サルについては調査し、猟友会の意見を聞き撃退方法を研究したい。



10月4日に開催された100人委員会

旧羽床上小学校の跡地利用は

Q 綾上小学校は、17年4月に新校舎ができ、PTAの方々にご理解はいただけたと思う。しかし問題は閉校になり残された校舎である。利用はどのように。

A 立地条件がよいと思われるので、県と連携をとり、近く開かれる100人委員会でも審議をいただきたいと考えている。

寄付金の報告

次の方より寄付があり、厚くお礼申し上げます。ともに、皆様にお知らせします。

- 綾川町育英資金として
○一金 15万円也
綾川町滝宮2864番地
大林 浩之 様
- 綾川町育英資金として
○一金 20万円也
綾川町陶3775番地6
浮田 泰孝 様

勤務評定はいかに

職員給与改定条例

問 職員の給料は勤務の成績に応じてあるがどのようにするのか。

答 勤務評価の規則を調整中です。評価については、所属職員については

その所属長が、また所属長については助役が評価する予定である。

問 これまで個々の職員の昇給月が異なっていた。今回、昇給日を統一し、1月1日としたが、なぜか。

答 理由は分からないが、課税基準日に関係していると思われる。いずれにしても、国の方針に従わざるを得ない。

一般会計補正

ゲートボールで国際交流

問 国際交流事業費で、中国へのゲートボール大会参加に伴う医師・看護師派遣旅費について、日中友好協会が主催であるのに、なぜ綾川町が対応するのか。

答 行政主催によるものではないが、本町と友好都市の新築市へ訪問する

ことから、支援措置として計上している。

問 陶病院の医師を中国に派遣することに伴う、不在中の対応はどう考えているのか。

答 医師派遣中における対応については、院長にお願いして香川大学から医師・看護師の派遣などを要請する予定である。

問 今回の大会旅行代金は他の旅行会社と比較して高くないか。

答 旅行代金は、日中友好協会本部で、旅行代理店と交渉して設定しており、担当者と今後調整を図りたい。

議員選挙統一

財産区議会

問 今後、それぞれの財産区議会の運営は。

答 個々財産区の運営はこれまでと同様である。経費削減のため、4財産区議会の選挙を1回に統一する考えで、11月17日に説明会、11月28日に選挙告示、12月3日投票の予定である。

財産区議員の定数および予算決算は

問 定数と会計運営は

答 定数は財政状況により既に決定されている。予算・決算も各財産区において議決され運営されている。

問 財産区運営助成金および選挙費用は

答 助成金は、地区の財産を保全してもらうための助成であり、選挙費用は、合併にともなって新町になってからの改選であるため町の方において予算化される。

一般会計補正

安定勾配に改築できるよ

う要望できないか

問 広域基幹林道塩江琴南線の法面構造について安定勾配に改築できないか。

答 県への要望を実施したが改善措置については難しい旨の回答であり、

今後においても適正な維持管理を実施する。

問 林道維持管理費における草刈り業務

答 町管理林道として、地元においても管理が難しく通行の安全確保のため必要。

問 綾川上流粉所西、新名地区の損傷復旧

答 欄干部分は早期に復旧できるよう対応し、橋台部分までは、今後、路線認定等を協議の上、検討する。

問 萱原地区の大規模開発にともなう交通体系・用排水路・下水道等の対応は。

答 具体的な設計図ができた時点で協議したい。



業務に精励する町職員

新たな火葬場建設にむけて調査

綾川斎苑

火葬場用地、火葬炉などの事前調査委託料として、200万円が計上された。

綾川斎苑は、現在の綾川町山田下に昭和43年に葬斎場が完成し、祭壇の



老朽化の著しい綾川斎苑

朽化による痛みが激しく、周辺の環境や人間の尊厳のことを考えるならば、今の建物を使用するには無理がある。そのため、大型火葬炉3基、動物炉1基、収骨室などを新しく整備することを前提に調査を行う。今後、事前調査により、施設規模などが提案される。

問 新しい火葬場用地は、建物ほどの程度必要か。

答 現在ある土地を拡張し、建物も既存の2倍は必要だと思っている。構想がまとまれば報告したい。

東側のフェンスを修繕

現在、綾川斎苑内の東側フェンスおよび場内の舗装が傷んでいるため、350万円で修繕を行う。

35万円で引き上げ

出産育児一時金

18年10月から出産育児一時金が30万円から35万円で引き上げられた。今年度対象増加人員は17人

を見込んでいる。

患者さんの負担

10月から3割に

医療費負担

8月から、新しく現役並みの所得者とされた70歳の以上の負担が1割から2割に上がり、10月から3割になる。

町としてどれくらい

の人が対象者なのか。現役並み所得者といっても

高齢者控除廃止などの影響を受けただけで、収入は増えていない。そのうえ、医療の負担になるが。

答

70歳から74歳までで3・8%、75歳以上で4・9%の方が3割になり、平均で2万円増となる。医療費が税で賄われている以上、国の方針に従わざるを得ない。町としては、今後、県・四国の町長会で協議する。

民間事業者が管理する

一般廃棄物最終処分場

問 一般廃棄物最終処分場の管理委託料175万

円が計上されたがその内容は。

答 これまでの管理は町職員により行ってきたが、今回資格をもつ民間業者に委託することになった。

問

今後の管理は民間業者がすべて行うのか。

答 町職員が資格を取得し、直営で行うか否かは、今後検討する。

環境パトロールの強化

問 ごみの不法投棄処理料など18万6000円が計上されたが内容は。

答 夜間などに道路の谷すじや「ミステーション」ヘレピ・冷蔵庫などの不法投棄が絶えないため、不法投棄処理料とそれにもなう看板作成費用である。



西分にある一般廃棄物処分場

放課後児童クラブの終了時間の統一を

問 旧綾上町では、午後6時まで留守家庭の児童を預かっている。旧綾南町は少し早い。終了時間の統一が必要では。また、放課後クラブの所管は教育委員会が実施しては。

答 教育委員会が放課後子どもプランの実施を検討している。時間については十分協議したい。所管は、対象が児童なので教育委員会と協議する。

7月11日から13日まで、
北海道秩父別町と長万部町
の2町を行政視察しました。

秩父別町は旧綾南町と姉妹町縁組をしてきましたが、今回綾川町が発足したのに伴い、これからも相互理解と友好親善を計るため両町長が署名締結しました。

秩父別町は、北海道の空知支庁のほぼ、中央部にあって明治時代北方の守護と開拓の使命をもって400戸の屯田兵が入植し、原生林を開拓し、百年を経て今日の米作経営を中心として、発展した町です。

入植した屯田兵のうち、83世帯は香川県人で6世帯が旧綾南町出身です。

旧綾南町の資料に元禄年間(1693)の庄屋で貧しい農民のために私財を投げ出し、三百町歩の菅原用水を導入して、偉人とされている久保太郎右衛門ルーツを尋ねるうち末孫の利三郎が屯田兵として秩父別町入植していた。利三郎故人であり、その孫清が町内にいることがわかり、交際がはじまりました。

昭和54年に当時の村山町長、大野議長らが訪問し姉妹町の締結を行い現在に至っています。

13日は、長万部町学習文化センターを視察しました。計画当初は、図書館の新設として考えていましたが、建設予定地の有効利用を考え検討の結果、芸術鑑賞や音楽・演劇の発表の場となる文化ホールを併設した施設にすることに決定し、平成3年から2カ年で建設しました。

綾川町でも、生涯学習センター、図書館の早期建設に強い要望があります。議会としても今回の視察研修を参考に、十分検討したいと考えています。



視察研修を参考に、十分検討したいと考えています。



文化ホールを併設した長万部町学習センター

見学

香川松下電工を見学

9月21日午後、綾川町滝宮北部の丘陵地にある香川松下電工株式会社を見学しました。

1981年屋島西町より滝宮へ全面移転をし、今年で25年目の節目の年になります。

主な製品は木のぬくもりを大切にした玄関収納、居室・寝室収納、和室収納など収納設備やインテリア建材の製品を作っています。

会社は今「環境配慮型工場」としてさまざまな取り組みをし、製品の木くずは焼却をやめ燃料化するなど、(ゼロエミッション)廃棄物を出さない工場認定を受け、積極的に環境問題に取り組んでいます。

編集後記

ことしの夏は、例年になく猛暑の連続でしたが、本号が届く頃には、綾川町も秋色に染まっていると思います。

9月定例会は26日に閉会し、各常任委員会に付託された議案は慎重審議の結果、本会議ですべて可決して終了しました。

しかし、防災無線等で案内をしていますが、議会の傍聴者が少ないのが気になります。今定例会の傍聴者は3人でした。町民の皆さんの生活にかかわる身近な問題を審議する議会に、もっともつと足を運んでいただきたいと思っています。

議会広報編集委員会

- 委員長 中西 一幸
- 副委員長 松浦 正昭
- 委員 山亀 英信
- 委員 長尾 進
- 委員 石井 和義
- 委員 安藤 利光